



STAND



赤田善株式会社

挨拶



赤田善株式会社は、昭和七年の創業以来、「食品添加物製剤などの製造業」、「食品添加物・食品原材料などの卸売業」、「食品工場総合衛生管理システム(TOSCOシステム)の提供」を3本柱として歩んでまいりました。この「赤田善のステージ」で、食品産業界の「縁の下の力持ち」となるべく、日々活動しております。

さて、2020年に東京オリンピック、パラリンピックの開催が決定いたしました。大掛りな準備とインフラ等の整備により、各分野において長期にわたって経済を下支えすることが期待されています。一方、過去の開催国においてオリンピック開催後に経済に下振れが生じているのも事実であります。つまり、オリンピック開催後に景気が持続する仕組みを、今の段階から築き上げることが課題であります。

生じているのも事実であります。つまり、オリンピック開催後に景気が持続する仕組みを、今の段階から築き上げることが課題であります。

そんな中、2013年12月に「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

そう、「和食」がオリンピック後の景気を支えるのです。

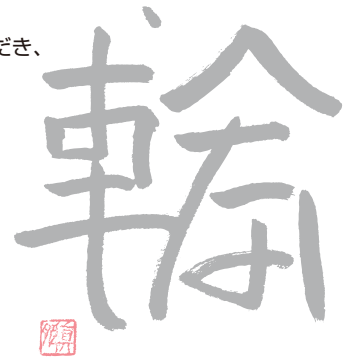
オリンピックを機に、日本へ訪問された海外の方々に、和食の良さを知っていただき、オリンピック後にその感動を祖国へ持ち帰っていただくのです。

当社では、「おもてなしの輪」をモットーに、食品加工技術をもって、和食が世界へ広がるサポートを行ってまいります。

- ・一つ目は、海外に受け入れられる和食材をアレンジする取り組みです。
- ・二つ目は、海外へ流通できる食品の日持ちを延ばす取り組みです。
- ・そして三つ目は、海外での和食工場を考える取り組みです。

特に醤油をゲル化させたり、海外に広く受け入れられる和菓子を提案したりと、様々な課題にチャレンジしてまいります。みなさまと共に、世界へ和食を広げていきたいと思います。

このように、当社は食品産業界の「縁の下の力持ち」となるべく、これからも、「食品添加物製剤などの製造業」、「食品添加物・食品原材料などの卸売業」、「食品工場総合衛生管理システム(TOSCOシステム)の提供」を3本柱として、元気に活躍して参ります。どうか一層のご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



赤田善株式会社
代表取締役社長
赤田 真朗

会社概要

社名	赤田善株式会社	取引銀行	三井住友銀行 備後町支店
創業	昭和7年1月(1932年)		みずほ銀行 船場支店
代表者	代表取締役社長 赤田 真朗		りそな銀行 北浜支店
資本金	1,000万円		三菱東京UFJ銀行 谷町支店

沿革

- 昭和7年1月 製菓原材料、化学工業薬品等の卸商として東区内平野町において個人商店石善を創業。
- 昭和 21 年 戦災を受けるも東区道修町に復帰、営業再開、農林省指定工場として配給ベーキングパウダーの製造を行う。
- 昭和 23 年 法人組織 株式会社赤田善商店設立。
食品衛生法の施行に伴い食品添加物全般の取り扱いを始め、取引先も食品業界全般にわたる。
- 昭和 38 年 東区豊後町(現所在地)に新社屋建設。
技術指向の営業活動展開。
健康食品「クロレラキング」の取り扱い開始。
- 昭和 43 年 電撃殺虫剤「ムシキラー」(セキスイ化学)の取り扱いを始め、環境衛生面の分野に進出。
- 昭和 45 年 赤田善株式会社に商号変更。
- 昭和 47 年 食品衛生の基本である手洗いの完全実施のため「バクトダウンセット」を開発。
- 昭和 52 年 大阪市衛生研究所の指導を受けて自動手洗い装置「ジュピター」を開発・発売。
- 昭和 55 年 第1回日本国際食品工業見本市にTOSCOシステム(トータルサンテーションコントロールシステム)を出展発表、各界から好評を得る。
- 昭和 60 年 技術サービス強化のため研究室を増設。
- 昭和 62 年 兵庫県西宮市鳴尾浜に倉庫、配送センターを建設、鳴尾浜センターとして発足。
- 昭和 63 年 鳴尾浜に新工場を建設、品質管理面を充実した機能性にすぐれた工場として発足。
- 平成 2 年 千葉県に関東出張所を開設。
- 平成 5 年 酒類販売免許取得、酒類販売を開始。
- 平成 6 年 PL法の施行に向け、食品工場の「衛生管理、維持」代行の販売を開始。
- 平成 9 年 鳴尾浜センター内に新研究所を建設、「ワクワクラブ」の愛称で発足。
- 平成 13 年 鳴尾浜に細菌検査室を移設。
- 平成 14 年 千葉県船橋市に関東営業所を開設。
- 平成 17 年 関東営業所を本社に集約統合。
- 平成 18 年 加工食品の日持向上支援事業 Food Life Support Project (FLSP: フラスプ)を立上。
- 平成 20 年 建設業許可取得
- 平成 21 年 食添GMP認定取得
- 平成 24 年 加工食品の日持向上支援事業 Food Life Support Project (FLSP: フラスプ)を食エコ宣言として再発足。
- 平成 26 年 中央区大手通(現所在地)に新社屋建設。

食添 GMP



JAFAGMP-084

鳴尾浜工場は、平成 21 年 12 月に、食添GMPの認定登録を受けました。
食添GMPの管理システムに沿った生産活動を行っております。
原材料、製造機器、製造方法、品質検査、製品出荷にいたる管理・記録、
またそれらに係る人材教育の実施等、一定した品質の製品提供に努めております。



事業内容



赤田善株式会社は、皆様の活力です。





スタンド印について

川柳

甲子園 十万の目が 球一つ
赤田善吉

甲子園球場の南部に所在する、赤田善株式会社鳴尾浜工場。

スタンド印製品の製造拠点である。

創業者、赤田善吉は大の野球観戦好きであった。

「いつか、この甲子園球場のように、沢山のファンを作りたい!」

との願いを込めて、甲子園球場のスタンドをイメージしスタンド印ブランドを立ち上げた。

ファンに愛されるブランド日本一を目指し、日の丸に漢数字の一を重ね、スタンド印が誕生した。



本 社

〒540-0021

大阪府大阪市中央区大手通3丁目2番20号

TEL.06-6942-0281 (代)

FAX.06-6943-7366

HP.<http://www.akatazen.co.jp/>

事業内容

- ・食品添加物製剤などの製造業
- ・食品添加物・食品原材料などの卸売業
- ・食品工場総合衛生管理システム(TOSCOシステム)



鳴尾浜配送センター

〒663-8142

兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目6番53号

TEL.0798-41-9286 FAX.0798-44-2131

鳴尾浜工場

〒663-8142

兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目6番53号

TEL.0798-41-6931 FAX.0798-44-2008

鳴尾浜研究所(ワクワクラボ) 細菌検査室

〒663-8142

兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目6番53号

TEL.0798-41-9285 FAX.0798-44-2012